

千葉県議会議員
おだかのふもと
小高伸太
県政リポート

いっしょ

Vol.1

発行：小高伸太事務所
平成23年6月20日発行



こんにちは。小高伸太です。

この四月に、おかげさまで千葉県議会議員5期目に当選することができました。

初心に立ち返る心づもりで、これからも皆様のお役に立てるよう、地域の発展のために精一杯頑張っておりますので、どうぞこれからもより一層のご支援とご協力をお願いします。

皆様もご存じの通り、この三月十一日に発生した東日本大震災では、非常に広い地域で大きく被災いたしました。

亡くなられた皆様のご冥福を心からお祈りすると共に、被災された皆様にお見舞いを申し上げ、早期の復興を願います。

我が千葉県では、津波や液状化等の直截的な被害もありました。そして今もなお余震による津波や、原発事故による放射能汚染等を心配され、風評による被害が続いています。

農業漁業と観光の街である千葉県南部——勝浦・夷隅地域では、死活問題となっております。

この五月に行われた臨時議会では、主として今回の震災被害について補正予算が審議され、可決しました。

被災地への復興

支援等が織り込まれ、同時に、観光客誘致にも力を入れていく形になっています。

地域に元気を呼ぶために、まだまだこれから皆様のご要望をしっかりと反映させ、新しい施策を講じていくべきだと考えます。

これまで4期の経験と実績を活かし、全力で取り組んでまいりますので、皆様の声をお聞かせ下さい。

今回、この会報の発行にあたり、衆議院議員・森英介様をはじめ、大多喜町町長・飯島勝美様、御宿町町長・石田義廣様、勝浦市市長・山口和彦様からメッセージをいただくことができました。

お忙しい中、ご寄稿くださったことに心から感謝をし、そして厚く御礼申し上げます。

近隣1市2町の首長、そして地元の森代議士と志を同じくして、地域発展のためにスクラムを組んで、市町と県のパイプ役として、また国と県のパイプ役として頑張っております。

小高伸太のマニフェスト

- 景気対策と雇用機会の創出に努めます。
- 社会福祉の増進に努めます。
- 子供たちのために、保育環境と教育環境の整備や学校教育の充実に努めます。
- 恵まれた自然環境の保全と廃棄物対策の強化に努めます。



初登庁。登庁ランプを点灯

プロフィール

小高伸太 (おだかのふもと)

昭和32年6月2日生まれ 54歳
ふたご座 B型

昭和51年3月 千葉県立長狭高等学校卒業

昭和55年3月 日本大学経済学部卒業

平成3年4月 千葉県議会議員選挙に初当選
(以後、連続4期)

平成23年4月 千葉県議会議員選挙5期目に当選
県土整備常任委員会

特別養護老人ホーム シルバーガーデン理事長

自由民主党 勝浦市支部 顧問

趣味：スポーツ 特に野球は県議会野球部に所属
千葉ロッテマリーンズを応援
散歩・サーフィン

好きな季節：夏！

● 「観光立県ちば」へ、地域特性を活かした観光振興に努めます。

● 農林水産業と商工業の振興に努めます。

● 圏央道の開通を視野に、国道・県道の整備・促進に努めます。

地域の活性化には、地域の人たちの笑顔と元気が必要です。安心して働き、安心して子育てができ、安心して老後を送れる……そんな安全快適で魅力ある環境を作っていきたいと思えます。

鶴原の産廃処分場は建設反対の立場を明言し、県へのパイプ役として陳情書提出にも同行しました。

これからも生活環境と観光資源の保護に積極的取り組みます。



環境生活部部長へ陳情書の提出



衆議院議員 森 英介

四月の統一地方選挙で小高伸太さんが県議会への返り咲きを果たした。通算五回目の当選である。心よりお祝い申し上げると共に、夷隅地域、中でも、勝浦市、大多喜町、御宿町の皆様の温かいご理解とご支援に深く感謝を捧げる次第である。

四年前の県議選からこの地の選挙区割が変更になった。同期の齋藤万祐県議(当時)と選挙区が重なってしまった小高県議は、潔く自ら身を引く決断をし、齋藤県議の支援に廻った。その結果、齋藤万祐県議は、無事当選され、夷隅地域のため、千葉県のため、引続き尽力された。ところが、齋藤県議は、惜しまれつつ先の任期を以て勇退されることになった。ここで改めて、齋藤万祐前県議の長きに亙つての郷土の発展に対するご貢献に深く敬意を表したい。

その後を承けて、小高伸太さんの再登板となったわけである。小高県議は、既に十六年間の県政活動の経験と実績を持つ。返り新参とはいえず、県議団の中では指導的な立場にあり、豊富な人脈を持ち、既に縦横の活躍が始まっている。政策面

に関していえば、「観光立県」と謳われる千葉県にあつて、観光・サービス産業に関する造詣とセンスにおいて小高県議の右に出る者はいない。また、高齢化社会の進展に伴い我が国の今後最も重要な課題である高齢者福祉の分野にも通暁している。小高県議の今後の議会活動に大きな期待を寄せる所以である。

ところで、今まさに、我が国は、国家の非常事態のさなかにある。三月十一日に勃発した東日本大震災は、東北地方の太平洋岸を中心に想像を絶するような甚大な被害をもたらした。我が千葉県にもその累は及び、地震、津波に加えて、原発事故は、房総半島の農業、漁業、観光業はじめあらゆる産業分野に暗い影を落としていく。被災した全ての皆様には心からお見舞いを申し上げる。民主党政権の対応の拙劣さもあつて、三か月が経過した今も復旧、復興が遅々として捗っていないのは、誠に遺憾なことである。この困難を克服し、日本の再興を成し遂げることこそ、私たちの世代、そして、自由民主党に課せられた使命であると心得て、これからの政治活動に臨みたい。

むすびに、小高伸太県議のたいなる活躍を祈念すると共に、私たちスクラムを組んで千葉県のため、とりわけ、夷隅地域のために奮励努力することをお誓いする。



勝浦市市長 山口和彦

この度は千葉県議会議員にご当選、誠にありがとうございます。心より御祝い申し上げます。小高先生におかれましては、これまで千葉県議会議員として四期十六年県政に参画され、地方自治の高揚と地元をはじめ県政の発展に尽くされました輝かしいご功績と現在の福祉事業へのご尽力が民意に根付き、この栄えある結果はその期待の現れと心より感じる次第です。

さて、三月十一日に発生した東日本大震災により、東日本はまさに未曾有の大災害を被りました。想像を絶する地震・津波被害でした。そして、被災した原子力発電所からの放射性物質の漏えいによる直接的・間接的な影響により、今なおたいへん不安な日々が続いております。あらためて亡くなられた皆様に衷心よりお悔やみ申し上げますと、被災された皆様に対し心よりお見舞いを申し上げますさせていただきます。

私は市長就任以来、行政の長として市民の皆様方の生命・財産を守るといふ大きな使命を受け持ちました。特に今回の大震災に係る津波の恐ろしさは、海を抱える本市としても他人事ではなく、この大震災を教訓に再度、津波ハザードマップ等の見直しなど早急に検討しなければならず、ま

た、近年の台風の大規模化や局地的な豪雨の発生などの自然災害の脅威への対策と併せ、災害に強い安全・安心のまちづくりを目指していかねばなりません。とは申しましても、防災対策が一朝一夕に進むものではないことは十分理解しておりますので、ご経験豊かな小高先生のお力添えを切にお願いする次第であります。

また、市政発展のバロメーターの一つとして人口の伸びが挙げられますが、残念ながら我が勝浦市においては、減少傾向の一途にあります。都市と地方の格差は拡大し、多くの自治体は地域間格差の是正や地域再生に向けた新たな施策を打ち出したくても、地方税の減少による厳しい財政状況の下、なかなか踏み出せないのが偽らざる実態ではないかと思えます。

そこで、私は「元気のある、活気のある勝浦」をつくるために、市民の皆さんと協働による取り組みを推進してまいります。そのためには、人口減少対策を重要課題として共有し、子育て支援対策、企業誘致等による雇用の場の創出など、まちづくりや地域の活性化に向けて、是非とも小高先生のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、小高先生におかれましては、今までの実績を元に、県政におきましてエネルギーで素晴らしいご手腕を発揮されることを期待申し上げます。ご健康勝にて一層のご活躍を祈念いたします。

■山口市長は6月12日にお亡くなりになりました。この原稿は入院される前にお預かりしたものです。お人柄を偲び、心からご冥福をお祈りするとともに、ご遺稿を掲載させていただきます。



大多喜町町長 飯島 勝美

若葉が目にしみいる爽快な季節となつて参りました。先に執行された千葉県議会議員選挙において、当選挙区から立候補をされた小高伸

太氏がめでたく当選をされましたことをまずもってお祝い申し上げます。

小高県議には、四期十六年にわたる県議会議員としての経歴を持ち県政発展にご尽力をいただいているところでありますが、今回新たに県議会議員として再出発をされ、豊富な経験と行動力をもって更なる県政発展は勿論、夷隅地域の発展にご尽力下さることを心からお願ひし、またご期待をされる所でございます。

私どもの市町も少子高齢化が進み、なんと言ってもこの先一番に憂慮すべきまた対策を講ずべきことは人口対策であり、いかに人口減少を食い止め人口増をはかつていくことではないかと考えます。この問題に取り組んでいく上で大切なことは、ライフライン整備を初めとした「住環境整備」、そして若者たちが集える「商業施設や遊びの場の確保」などが重要なポイントではないかと考えます。

こんな中、今圏央道の工事が着々と進んでおりますが、圏央道完成後は当地域に与える経済的効果も大きなものがあると考えますので、これも一つのチャンスと捉え、早期の完成を望むと同時に、各種施策を展開していきたくないと考えます。また、夷隅地域は、海あり山ありと大自然豊かな地域でもあります。自然豊かな地域の陰には有害獣対策などを初めとした様々な問題もあげられますが、これらの対策を含め、夷隅地域の発展にはこれから先多方面にわたる施策や対策を講じていかななくてはなりませんので、経験豊かな小高伸太県議の益々のお力添えとご活躍を心から願っております。



御宿町町長 石田 義廣

小高先生には、この度のご当選誠にありがとうございます。さらなる県政舞台での活躍を心からお祈り申し上げます。要望につきまして

は、第一に道路整備の問題です。まず圏央道完成に合わせ、圏央道からの勝浦いすみ地区への関連関係道路整備の推進にご尽力をお願いする次第です。観光産業をはじめ、漁業、農業、商工業とあらゆる産業振興も道路整備に負うところが大きいです。

次に福祉の問題です。当地域は、高齢化が進展し、とりわけ御宿町は四月一日現在で高齢化率およそ四十%と、県内第一位となっております。このような中、高齢者の皆さんがいきいきと社会参加し、活力ある高齢化社会の実現も一つの課題であります。同時に次のケアとしての老人・介護施設等の設置について政策を進めて行かなくてはなりません。

他に地域が直面している共通課題としてゴミ処理や医療、定住化の問題などがあります。また、東日本大震災により防災計画の見直しも急務ですが、津波防災をはじめとして地域間防災協定をしっかりと締結しておく必要があると思ひます。

当面の課題をあげましたが、今、私たちが面している一番大きな内的課題は、この三・一一の大災をどう受け止めるかということであろうかと思ひます。国難といわれ国も地方もこの課題を克服するためにどのように対処していくのか、国難をどう乗り切るかということと共に、この国難をきっかけに深く反省し新しい国づくりをどのように行っていくかということではないかと考えます。国家存立の基盤に広く思いを馳せ、誠の豊さを実現して行かなければなりません。そのために地域づくりに共に邁進しようではありませんか。

行動録

二〇一二年四月〜六月一〇日

◆4月◆

12日 東房総人の会 (旧・夷隅郡青年経済人連絡協議会) 会合

15日 京葉政経研究会緊急総会

18日 県盛会

19日 勝浦市産廃問題協議会

20日 勝浦市長面談

25日 県盛会

26日 勝浦市墨名区合同役員会

26日 御宿町商工会青年部総会

26日 東房総人の会 会合

26日 勝浦市観光協会通常総会

2日 県議の会

2日 自由民主党第11地区会合

9日 県盛会

9日 勝浦市商工会総代会総会

9日 自由民主党千葉県連総会

10日 ライオンズクラブ例会

10日 勝浦市副市長面談

11日 夷隅土木へ

11日 千葉県議会

11日 全員協議会(初登庁)

12日 夷隅地区保護司会定期総会

12日 勝浦市遠見岬神社方面現地調査

13日 NPO法人勝浦市ボランティア

14日 団体連絡協議会懇談会

15日 自由民主党大多喜町支部総会

15日 一般国道465号線整備促進期成同盟総会

17日 県土整備委員会打ち合わせ

18日 千葉県議会 開会

18日 大多喜町商工会総代会

19日 東房総人の会

19日 千葉県議会

20日 勝浦市商工会通常総代会

20日 千葉県議会

20日 自由民主党鴨川市支部

◆6月◆

21日 石破茂講演会

21日 大多喜町老川地区開発協議会

24日 シルバーガーデン役員会

24日 いすみ市介護サービス事業連絡協議会 会合

25日 自由民主党千葉県連婦人局 春の研修会

25日 農林業振興協議会総会

25日 いすみ鉄道対策協議会

26日 東房総人の会

26日 御宿町商工会総会

26日 自由民主党勝浦市支部支部長会議

27日 旭市・銚子市方面震災被害視察

28日 自由民主党御宿町支部総会

29日 自由民主党勝浦市支部総野地区会合

30日 勝浦市シルバー人材センター総会

30日 シルバーガーデン役員会

30日 いすみ市介護サービス事業者連絡協議会総会

2日 陳情依頼を受けた案件を県担当部署に提出

2日 陳情依頼を受けた案件を県担当部署に提出

3日 陳情依頼を受けた案件を県担当部署に提出

6日 議員総会

6日 いすみ鉄道友の会

6日 千葉県南部漁港平成23年度事業概要説明

7日 ライオンズクラブ例会

9日 よい歯のコンクール表彰式

9日 夷隅三師会総会

9日 千葉県環境生活部会

9日 鶴原産廃反対地元住民の会の知事宛陳情書提出に同行

※赤字の行動は写真で紹介しています

県政報告

5月18日から開催された臨時議会では、東日本大震災の復興支援措置等をメインに審議されました。

浦安地域の大規模な液状化、銚子市、旭市方面の津波被害は甚大なもので、日常生活を送ることが困難であると報道されていました。

勝浦夷隅郡地域では埋め立て地域は少ないのですが、広い砂浜やリアス式海岸を含む長い海岸線を持っています。



銚子漁港の荷捌場では地震の揺れにコンクリの柱が崩れて天井が下がり、現在も立ち入り禁止状態です。



河口を遡る津波は護岸のコンクリも剥がしてしまいました。



飯岡漁港の船曳場。漁船は沖に避難して無事でしたが、現在もなお使えない状態が続いています。



勝浦市遠見岬神社の崩落危険個所の視察。



海から非常に近いのがわかります。この道路も津波に飲まれたそうです。



旭市の九十九里自転車道・日の出橋は、津波で橋が持ち上がり、アスファルトもえぐれてしまいました。

次に同様の大地震が起き、大津波に遭ったらどのような被害が出てしまうのか、また、そうなった場合にどのように対応していくべきなのかを検討するため被災地域に視察に行き、現地の土木や港湾事務所長らから説明を受けました。

また、地域からの陳情の多かった勝浦市遠見岬神社の崩落危険個所についても、地元の方々と共に現地調査に行き、県に整備の申し入れをしました。

会報のタイトルについて



漢字にすると「一伸」というのが1番の意味になりますが「一新」「一身」「一進」…に置き換えることもできます。また「しん」の部分は「心」「真」「芯」「信」…等にもなります。心機一転もありました。これからも1つの何かに打ち込み、そして様々なことにも繋がっていきたいという思い……たくさんの願いを込め、たくさんの意味に繋がるよう、ひらがなにいたしました。また、揮毫は、地元の書家の先生にお願いしました。力強い書体の中に、遊びを入れていただきました。心(HEART)が入っています。とても気に入っています。これからは皆様とともにありたいと思います。いっしんに、頑張ってます。よろしくお祈りします。

本紙にご寄稿いただいた山口市長が6月12日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

6月3日より地方自治法の定めにより勝浦市長の職務代理者となられた猿田さんをご紹介します。

勝浦市副市長
猿田 寿男 (さるた ひさお)



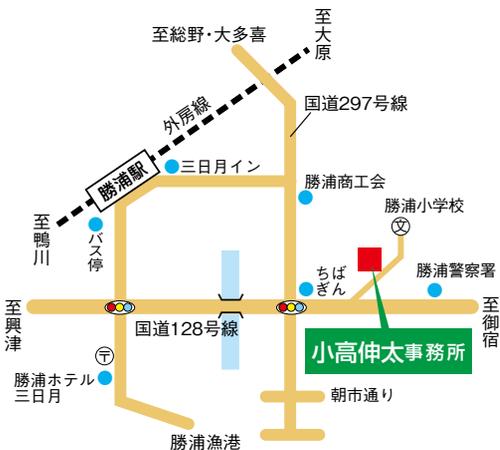
市町村の指導をする立場の市町村課長をされた経験もあり、行政に大変明るい方です。

また消防防災課長や商工労働部長の経歴は、震災関連の様々な対策が必要な中で非常に頼りになると思います。

勝浦のためにご活躍くださることをご期待申し上げます。

昭和23年11月15日生まれ
昭和48年 千葉県庁入庁
総務部消防防災課長・総務部市町村課長・商工労働部長等を歴任。
平成21年に退職後は千葉商工会議所専務理事・社団法人商工会議所連合会専務理事に就く。
平成23年4月 勝浦市副市長に就任。

◎この意見等がございましたらお気軽にお問い合わせください。



おだかのぶもと
小高伸太 事務所
〒299-5225 勝浦市墨名732
電話 0470(73)7230
Email: odakajimusyo@gmail.com

RECESS



小高事務所では、事務所の花壇にハーブを植えています。県産がヘルシーなものが好きということで、事務員が植え始めたのですが、好評です。季節の移り変わりを目で楽しみ、その香りや味も味わうことが出来るのは、ささやかな贅沢です。ところで、イタリアンでも馴染みのバジルは味も香りも独特ですが、もっと特徴的なのは、その育て方。料理で相性のいいトマトと交互に並べて植えると、虫がつかなくてよいとが。またヘランタやキッチン的一角で植木鉢で育てられますが、悪口をいっぱい聞かせることもよく育ち、味も良くなる…とも言われています。そのせいで、事務所のバジルはまだあんまり元気がありません。

これからの季節にオススメ
ミントジュレップ小高事務所風

- ミントの葉 (何でもOK) 数枚
- グレープフルーツジュース 大さじ1~2
- あればレモンパームかレモンスライス 少々
- 炭酸またはサイダー 適量
- お好みでガムシロまたはハチミツ

グラスに材料を全部入れて軽くステア(混ぜる)するだけ。グレープフルーツジュースにミントやレモンを漬けておくともう一層風味が増します。☆ジュースをバーボンに代えると有名なカクテルになります。

